



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 ヤマウラ

上場取引所 東名

コード番号 1780 URL <http://www.yamaura.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山浦 速夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中島 光孝

TEL 0265-81-6070

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	16,486	14.0	1,510	112.2	1,591	104.6	1,078	128.2
28年9月期第3四半期	14,465	1.9	712	45.8	777	43.7	472	40.2

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 1,291百万円 (201.4%) 28年9月期第3四半期 428百万円 (54.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	56.98	
28年9月期第3四半期	24.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	19,303	12,409	64.3
28年9月期	19,565	11,196	57.2

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 12,409百万円 28年9月期 11,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		2.50		2.50	5.00
29年9月期		2.50			
29年9月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.4	1,550	41.1	1,700	16.2	850	2.2	44.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	21,103,514 株	28年9月期	21,103,514 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	2,176,077 株	28年9月期	2,227,677 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	18,918,971 株	28年9月期3Q	19,287,017 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、外部環境として、海外においては、欧州経済では景気指標は引き続き堅調であるものの、欧州中央銀行の景気回復に伴う資産購入額縮小動向が注目される状況、また、米国経済では、個人消費の回復傾向が継続、企業業績や雇用等の指標も経済拡大基調が続いていることを示しており、6月には、昨年12月、本年3月に引き続き、政策金利が引き上げられました。しかし、トランプ政権でのロシア疑惑や政府高官が定まらない等、政治的な不透明感が引き続いており、株価は好調ながら、金融・経済情勢への動静が不確定要因となっております。

また、減産合意後の原油価格動向に加え、中国経済を始めとする新興国経済の減速地合いも引き続いており、先行きが見通せない状況です。

一方、国内経済は、政府の経済政策と日銀の異次元の金融政策が継続され、円相場も変動する中で、原油価格・為替動向に加え、その後の都議選を契機とした現政権への支持率低下もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが中核事業としている建設業界におきましては、財務省長野財務事務所の四半期発表では、長野県内経済は緩やかに回復しつつあり、個人消費は持ち直しており、住宅建設は前年を上回っている。企業収益について通期は減益見通し、設備投資計画について通期は減少見通しとされています。しかしながら、当地区においては、一部には、設備投資に前向きな企業が出てきている局面はあるものの、今後の見通しについては、全般的に景気感低迷すると予想する等、厳しい状況が続いております。

このような環境下にあつて、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結売上高 16,486 百万円(前年同四半期比 14.0%増)となりました。

損益面につきましては、営業利益 1,510 百万円(前年同四半期比 112.2%増)、経常利益 1,591 百万円(前年同四半期比 104.6%増)、親会社に帰属する四半期純利益は 1,078 百万円(前年同四半期比 128.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(建設事業)

完成工事高 13,204 百万円(前年同四半期比 15.6%増)、営業利益は 1,089 百万円(前年同四半期比 60.8%増)となりました。

(エンジニアリング事業)

完成工事高 1,298 百万円(前年同四半期比 6.1%減)、営業利益は 191 百万円(前年同四半期比 32.9%増)となりました。

(開発事業等)

開発事業等売上高 2,006 百万円(前年同四半期比 19.1%増)、営業利益は 284 百万円(前年同四半期営業損失 58 百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ 262 百万円減少の 19,303 百万円になりました。

主な変動要因は、現預金や未成工事支出金等の増加はあったものの、開発事業等支出金や販売用不動産等の減少による流動資産の減少であります。

負債の部では、固定負債の若干の増加に加え、流動負債の未成工事受入金等の増加はあったものの、短期借入金や工事未払金等の減少により、前連結会計年度末に比べ 1,475 百万円減少の 6,893 百万円となっております。

純資産の部では、利益剰余金、その他有価証券評価差額金等の増加により 1,213 百万円増加の 12,409 百万円となっております、これらにより当第 3 四半期連結会計期間末における自己資本比率は 64.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました通期の業績予想について、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日) を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

(信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship®))

当社は、平成 25 年 4 月 12 日開催の取締役会において、当社従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship®)」(以下、「本プラン」といいます。)の導入

を決議いたしました。

本プランは、「株式会社ヤマウラ従業員持株会」（以下、「持株会」といいます。）に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「株式会社ヤマウラ従業員持株会専用信託」（以下、「従持信託」といいます。）を設定し、従持信託は、平成25年5月以降7年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、従持信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社持株会への売却により信託内に当社株式がなくなった場合には、信託期間の満了前に信託収益を受益者に分配し信託が終了しますが、当第1四半期連結会計期間に当社持株会への売却により当社株式がなくなったため信託が終了いたしました。

当社株式の取得及び処分については、当社が従持信託の債務を保証しており、当社と従持信託は一体であるとする従来採用していた会計処理を継続して採用しております。

また、この当社株式は、従持信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しており、1株当たり情報の算定上は控除する自己株式に含めております。

当該自己株式の帳簿価額、株式数、借入金の帳簿価額は次のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間に信託が終了したため、第3四半期連結会計期間末に信託に残存する当社株式はありません。

	<u>前連結会計期間末</u>	<u>当第3四半期連結会計期間末</u>
期末株式数	51,600 株	—
信託における帳簿価額	16,640 千円	—
総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額	—	—
	<u>前第3四半期連結会計期間</u>	<u>当第3四半期連結会計期間</u>
期中平均株式数	176,931 株	8,466 株

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,599,756	1,985,590
受取手形・完成工事未収入金等	3,246,059	2,909,985
販売用不動産	3,062,562	2,733,385
未成工事支出金	898,783	1,222,492
開発事業等支出金	2,944,608	2,482,789
材料貯蔵品	24,270	132,098
未収入金	1,870,997	1,745,678
その他	450,196	422,999
貸倒引当金	△2,515	△2,229
流動資産合計	14,094,718	13,632,790
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,945,994	1,859,679
土地	1,232,638	1,239,138
その他(純額)	548,450	653,532
有形固定資産合計	3,727,083	3,752,349
無形固定資産	92,932	94,625
投資その他の資産		
その他	1,681,008	1,853,843
貸倒引当金	△29,841	△29,835
投資その他の資産合計	1,651,168	1,824,007
固定資産合計	5,471,184	5,670,983
資産合計	19,565,903	19,303,773
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,746,577	2,272,384
短期借入金	1,700,000	-
未払法人税等	175,924	304,366
未成工事受入金	1,521,346	1,953,634
賞与引当金	175,000	271,000
完成工事補償引当金	129,204	108,575
工事損失引当金	289,107	344,240
その他	404,148	410,144
流動負債合計	7,141,308	5,664,345
固定負債		
長期末払金	129,448	125,855
資産除去債務	66,408	67,128
退職給付に係る負債	930,803	923,110
その他	101,538	113,466
固定負債合計	1,228,198	1,229,559
負債合計	8,369,506	6,893,905

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,888,492	2,888,492
資本剰余金	1,995,602	1,995,602
利益剰余金	6,762,443	7,745,832
自己株式	△847,539	△830,899
株主資本合計	10,798,998	11,799,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418,066	624,520
退職給付に係る調整累計額	△20,667	△13,680
その他の包括利益累計額合計	397,398	610,840
純資産合計	11,196,396	12,409,868
負債純資産合計	19,565,903	19,303,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高		
完成工事高	12,803,446	14,502,688
開発事業等売上高	1,661,895	1,983,585
売上高合計	14,465,342	16,486,273
売上原価		
完成工事原価	10,615,580	11,838,606
開発事業等売上原価	1,471,590	1,525,110
売上原価合計	12,087,171	13,363,717
売上総利益		
完成工事総利益	2,187,865	2,664,082
開発事業等総利益	190,304	458,474
売上総利益合計	2,378,170	3,122,556
販売費及び一般管理費	1,666,143	1,611,789
営業利益	712,027	1,510,767
営業外収益		
受取利息	75,061	58,233
受取配当金	20,424	20,901
受取手数料	11,139	7,028
その他	3,605	5,881
営業外収益合計	110,229	92,045
営業外費用		
支払利息	24,425	11,428
自己株式取得費用	20,000	-
その他	0	0
営業外費用合計	44,425	11,428
経常利益	777,831	1,591,383
特別損失		
固定資産売却損	9,861	-
固定資産除却損	975	4,721
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	10,837	4,721
税金等調整前四半期純利益	766,993	1,586,661
法人税、住民税及び事業税	294,507	508,635
四半期純利益	472,486	1,078,026
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	472,486	1,078,026

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	472,486	1,078,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,249	206,454
退職給付に係る調整額	△11,773	6,987
その他の包括利益合計	△44,022	213,442
四半期包括利益	428,463	1,291,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,463	1,291,468
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	建設事業	エンジニア リング事業	開発事業等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,421,248	1,382,198	1,661,895	14,465,342	—	14,465,342
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	23,085	23,085	△23,085	—
計	11,421,248	1,382,198	1,684,980	14,488,427	△23,085	14,465,342
セグメント利益又は損失(△)	677,759	144,116	△58,194	763,681	△51,654	712,027

(注)1. セグメント利益の調整額△51,654千円には、セグメント間取引消去7,543千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,198千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書上の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	建設事業	エンジニア リング事業	開発事業等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,204,567	1,298,121	1,983,585	16,486,273	—	16,486,273
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	23,085	23,085	△23,085	—
計	13,204,567	1,298,121	2,006,670	16,509,359	△23,085	16,486,273
セグメント利益	1,089,875	191,479	284,450	1,565,805	△55,038	1,510,767

(注)1. セグメント利益の調整額△55,038千円には、セグメント間取引消去7,868千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△62,907千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書上の営業利益と調整を行っております。

4.補足情報

(1) 生産、受注の状況 (自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

個別受注実績	(百万円未満切り捨て)	
	受注高	
平成29年9月期第3四半期	16,179百万円	5.1%
平成28年9月期第3四半期	15,391百万円	0.7%

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額。
 2. パーセント表示は、前年同四半期比増減率。
 3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

受注工事高の官民内訳 (単位:百万円)

区 分		平成29年9月期 第3四半期	平成28年9月期 第3四半期	前年同四半期比 (%)	
建設 事業	建 築	官公庁	631 (3.9)	4,619 (30.0)	△ 86.3
		民 間	10,941 (67.6)	7,955 (51.7)	37.5
		計	11,572 (71.5)	12,575 (81.7)	△ 8.0
	土 木	官公庁	1,017 (6.3)	1,148 (7.5)	△ 11.4
		民 間	191 (1.2)	89 (0.6)	115.0
		計	1,209 (7.5)	1,237 (8.1)	△ 2.3
	小 計	官公庁	1,648 (10.2)	5,767 (37.5)	△ 71.4
		民 間	11,132 (68.8)	8,045 (52.3)	38.4
		計	12,781 (79.0)	13,812 (89.8)	△ 7.5
エンジニアリング事業	官公庁	22 (0.1)	185 (1.2)	△ 88.0	
	民 間	1,392 (8.6)	1,250 (8.1)	11.3	
	計	1,414 (8.7)	1,436 (9.3)	△ 1.5	
計	官公庁	1,671 (10.3)	5,953 (38.7)	△ 71.9	
	民 間	12,525 (77.4)	9,296 (60.4)	34.7	
	計	14,196 (87.7)	15,249 (99.1)	△ 6.9	
開 発 事 業 等		1,983 (12.3)	141 (0.9)	1,299.2	
合 計		16,179 (100.0)	15,391 (100.0)	5.1	

- (注) 1. ()内のパーセント表示は、構成比率。
 2. 百万円未満は、切り捨てて表示しております。
 3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

【個別受注実績に関する定性的情報等】

当該四半期の個別受注実績は上記のとおりであります。
 受注実績は、16,179百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。